

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	企画総務部危機管理局
	02048-1	災害対策事業	室名	危機管理室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	05:防災力の強化	務	款 総務費
施策体系	施策の方向	02:危機管理体制の充実	科	項 総務管理費
	戦略プロジェクト		目	目 災害対策費

②目的・概要	対象	市民
	目的・概要	<p>当市は、河川や山間部が多く、孤立地域の発生も予想され、また、南海トラフ地震のみならず、近年大型化する台風や集中豪雨等、市域に被害を及ぼす災害の発生や避難情報等の発信頻度も増加傾向にあることから、防災無線や緊急速報メール等通信手段の充実及び維持管理のほか、災害用備蓄食糧等を充実し、減災を図る。</p> <p>災害時に市域滞在者が避難するのに必要となる情報の収集、整理、分析的確に行い、必要な時に必要な情報を即時配信できる仕組みを構築する。また、災害用備蓄資機材等の保守管理を適切に行う。</p>

		27年度	28年度
③指標	① 名称	防災行政無線の保守	計画値
	補足	防災行政無線の保守点検及び修繕 (移動系・基地局2台、移動局28台 固定系・基地局1台、子局28台)	実績値 4,348 単位 千円
	② 名称	防災備蓄食糧の確保	計画値
	補足	防災備蓄食糧品の更新 (市民の10%×3食分×3日分)	実績値 2,964 単位 千円
③	名称	衛星携帯電話の管理	計画値
	補足	衛星携帯電話(33台)の通信料	実績値 1,557 単位 千円
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績				<ul style="list-style-type: none"> ○通信手段等、危機管理対策に要する保守等 ○総合防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10月2日 中部中学校 参加人数:1,411名 ○備蓄食糧品の購入等 <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ米 6,000食 ・乾パン 1,800食 ・缶詰パン 1,200食 ・保存水 9,000ℓ(1.5ℓ×8本×750箱) ・新生児用、9カ月用ミルク 各240パック ・アレルギー用ミルク 4,800g ・ヘルメット 300個 				
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,662	平均給与額×③	
	国庫支出金		23,602	21,645	一般職員人件費 ②	3,662		
	県支出金		450	262	所要人員 ③	0.50		
	地方債				臨時職員人件費 ④			
	その他				受益者負担額 ⑤			
	一般財源		23,152	21,383	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	3,662			
	総コスト		⑥	25,307				

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時において「減災」に向けた迅速な対応に取り組めるよう、通信機器の維持管理に努めた。 ・災害時における被災者等に対する支援物資等の備蓄品について消費期限を勘案し、平成28年度計画分を購入し、有事に備えた。 ・職員の安全確保のため、耐用年数を超えたヘルメットを廃棄し更新した。 	<p>A</p> <p>順調に進んだ</p>

【反省点・課題】
通信機器の保守点検を継続して行っているが、経年劣化による故障も多く、また、部品の製造も終了し、修繕できないことから、無線設備の更新や代替設備の構築を計画的に実施する必要がある。

【改善の方向性】
災害時における情報伝達は市民の安全確保に重要な位置づけとなることから、災害情報伝達システムの構築に向け、具体的な事業手順を確立します。また、地域住民に対しても、情報を自ら取得することを出前講座等を通じて啓発を行う。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 危機管理室長 倉田 利彦
--------------	---------	-----------------------